



与野本町小だより

～かしこい子 心ゆたかな子 たくましい子 助け合う子～
ニコニコ・しっかり・美しく（本町の心）

4月号

令和8年4月8日

さいたま市立与野本町小学校

児童の自己調整力の育成と、児童が安心して学べる環境づくり

校長 小野 圭 司

本校3年目となります校長の小野圭司（おの けいじ）でございます。まずは、保護者の皆様におかれましては、お子様のご入学・ご進級、誠にありがとうございます。教職員一同、心よりお祝いを申し上げます。

本日入学した新1年生102名を含め、全校児童559名、教職員57名で新年度をスタートいたしました。明るく素直な子どもたち、本校の教育活動にご理解とご協力をいただける保護者・地域の皆様、そして情熱あふれる教職員。このような恵まれた環境のもと、開校155周年、現在地移転100周年という節目の年を迎える本校のよき伝統は、本年度も変わることなく受け継がれていきます。

本年度も、以下の学校経営方針のもと、保護者・地域の皆様のご期待に応えるべく、教職員一丸となって教育活動を推進してまいります。

1 学校教育目標

かしこい子 心ゆたかな子 たくましい子 助け合う子

2 本町の心

ニコニコ・しっかり・美しく（一人ひとりの笑顔が輝く学校生活）

3 目指す学校像

凡事徹底の上に、心身ともに健康で“情熱とスキル”をもった教職員が創造的に教育活動を進め、子どもたちに確かな生きる力（自己調整力等）を育む学校

4 本年度の重点

児童の自己調整力の育成と、児童が安心して学べる環境づくり

本年度の重点は、昨年度の子どもたちの成長の様子や、本年度の状況を踏まえて設定いたしました。昨年度は「自己指導能力」の育成に取り組み、子どもたちがその時々で、適切な行動を自ら考え、判断し、実行する姿が多く見られるようになりました。例えば、全校で集まる場面で落ち着いた雰囲気をつくる姿や、よりよいあいさつをしようと工夫する姿などです。

そこで、本年度はこのような行動面に加え、学習面も含めた「自己調整力」をさらに高めることが重要であると考えました。本日の始業式では、「自分で気づき、自分で選び、自分で整える力」を身に付けてほしいことを子どもたちに伝えたいところです。

また、本年度は子どもたち一人ひとりの多様な特性に応じた見守りや支援が、これまで以上に求められる場面が増えることが想定されます。学校だけでは十分に支えきれない場合もあるため、学校としてできることを着実にを行うとともに、保護者・地域の皆様のお力をお借りしながら、子どもたちが安心して学べる環境づくりに努めてまいります。

結びに、昨年度も保護者・地域の皆様のご協力により、敷地内の環境整備が一層進みました。このような落ち着いた教育環境の中で、本年度の重点である「児童の自己調整力の育成と、安心して学べる環境づくり」を常に念頭に置き、様々な取り組みを進めてまいります。本年度も引き続き、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。